



関甲新学生野球・オータムカップの常磐大学Bの最終戦となる5戦目、対・関東学園大学戦が行われ、常磐大学Bは0-7（8回コールド）で勝利した。オータムカップリーグBでの常磐大学Bの通算成績は3勝2敗となり、総合優勝トーナメントへの出場には至らなかった。

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
関東学園大	0	0	0	0	0	0	0	0		0
常磐大B	0	0	0	0	2	0	2	3X		7

【11/20 常磐大学野球場】先発は、大学野球での初先発となる古澤有人（3年）。関東学園大学の先頭打者にいきなりの右中間へのスリーベースを打たれピンチを背負う。しかし初回からギアを上げ2番、3番を三振で2アウト。続く4番をショートゴロに打ち取り、切り抜ける。1回裏、常磐大学の攻撃。2番大塚偉歩己（1年）が魂のヘッドスライディングで内野安打で出塁すると3番小関寛太（1年）がライト前へ運び、1アウト2,3塁のチャンス。しかし4番所宜和（1年）、5番安藤出望（1年）が倒れ得点ならず。4回までは両者にらみ合いのまま試合は動かず、得点板には“0”が続く。試合が動いたのは5回裏、常磐大学の攻撃。先頭の7番長瀬祥太（1年）がアウトになるも、8番大高麟太郎（2年）がレフト前安打、9番大隈聖蓮がセンター前安打、1番川波祐貴（1年）が相手ショートのエラーで出塁し1

アウト満塁のチャンス。2番大塚がスクイズをしっかりと決め、先制。1-0。なおも1アウト満塁で3番小関寛太（1年）の犠牲フライで3塁ランナー大隈が帰り追加点をあげ0-2。7回裏、2番大塚が死球、4番所がライト前安打。1アウト1,2塁で5番安藤が走者一掃の3ベースヒットで追加点をあげ、0-4。8回裏、先頭の8番高栖雅哉（2年）がバットを折ってのライト前ヒット、9番大隈が送りバントを決め、1番川波が四球、2番大塚の2ベースヒットでランナーが2人帰り、0-6。3番小関、4番所が死球と四球で出塁。5番安藤のセンターへの犠牲フライで7点目をとり、7-0（8回コールド）で常磐大学Bは勝利した。

投手陣も得点を許さないピッチングで最終戦を締めた。勝利投手は、飯田洋介（1年）。バッテリーは古澤、飯田、野口航（1年）、三浦彰浩（1年）—長瀬祥太（1年）。

（文・木村俊輔）